

立憲民主党 沢田 けいじ Sawada Keiji Report 区議会レポート

立憲民主党・無所属文京区議団
東京都文京区根津 2-34-21
Tel: 080-5697-8739
Mail: info@sawadakeiji.jp
URL: https://sawadakeiji.jp
Twitter: @sawadakeiji1979
Facebook: @sawadakeiji.jp

- 1 まちかどワークショップ #7
▶ 4/15(土)14:00-15:00@アイソメ
- 2-3 インタビュー #4
▶ 現役保育士から区議会議員へ
- 4 区政レポート / 区議会レポート
▶ 2月定例議会 予算審査特別委員会
▶ データで比べるコロナ後の23区議会



4.15 Sat.
14:00 Start

まちかどワークショップ
「民主主義の学校」開催します

「あなたと議会をつなぐ。 生活と政治をつなぐ。」

ボトムアップの民主主義ははじめませんか？

「生活と政治、どうつながってるの？」
「自治って、そもそもなんのこと？」

——「地方自治は民主主義の学校※」
という言葉のとおり、民主主義は人
と人が集まり、対等な関係での話し
合いをおして知恵と力を高め合う
具体的な体験と実感から育ちます。
話し合いやワークショップの方法や
ルールを決めるのも私たちです。

生活と政治の関係や自治の意味に
ついて、一緒に考えてみませんか。

まちかどワークショップ #7
「民主主義の学校」をつくる

参加
無料

日時：4月15日(土) 14:00-15:00
場所：アイソメ(文京区根津 2-34-23)
対象：子どもから大人までどなたでも
内容：①生活と政治の関係

- ②自治ってなに？
- ③私たちの未来は？

●参加申込はこちら ▶▶



現役保育士から区議会議員へ
政治って誰のためのもの？



子どもや若者に、未来への希望や
社会への信頼を取り戻すには「自分
たちの力で政治や社会は変えられ
る」という体験と実感が必要です。
私たちが参加すれば議会が変わる。
議会が変われば地方自治が変わり、
国政が変わる。遠回りのようですが
最も身近で確実な方法です。ケアの
政治からボトムアップの民主主義へ、
あなたも一緒にはじめませんか。

政策やプロフィール、今後の
活動や過去のインタビュー
記事は、公式LINEサイト
をご覧ください



※解説と実践の具体的な方策については、pp.2-3のインタビュー記事をご覧ください。

透明で開かれた区議会から 自治と民主主義を立て直す



学び合いとケアの政治についての前回インタビューに続き、私たちの力で政治を変える方法についてお話ししました。

- ① 初当選から4年間を振り返って
- ② 高校生のインタビューを受けて
- ③ 民主主義を立て直すために

前回はWEBへ▶



Interview#4

現役保育士から
区議会議員へ

透明で開かれた区議会へ 政治はなぜ変わらないか？

—— 初当選からの4年間を振り返って
いかがでしたか？

ほんとうにいろいろありました。正直、想像していたのと違い過ぎて、驚きの連続でした。

—— たとえばどんな風にですか？

初めての本会議で会派を代表して区長に質問したんですが、事前に質問と答弁の原稿を取り交わすんですよ。

原稿に書いてないことは一言も聞いちゃいけないなんて、びっくりじゃないですか？

—— ネットの録画中継で見ましたよ。あれってやっぱり台本を読み合わせただけだったんですね。

台本どおりなのは本会議だけで、委員会は違うんですよ。でも、委員会はネット中継をやつてないので、現地に行かないと見られないんです。

—— なんで中継しないんですか？

そういう議会内部のルールなんです。

多数派が賛成しない限り、ルールも変えられないんですよ。

—— 区民の要望はないんですか？

もちろんありますよ。一度は議会に請願も出されましたが、結果は反対多数で変わらないうまいでした。

請願の経緯や審査結果は
区議会レポート'22年春号
をご覧ください



—— 請願した区民から、不満の声はなかったんですか？

あったと思いますが、いまの区議会には、請願者が議会で意見を述べる機会すらありませんよ。

—— 一言も言えないんですか？

発言には委員長の許可が必要なんです。自分で請願の趣旨を説明したいという区民の要望もありましたが、それも認められませんでした。

—— ずいぶん閉鎖的ですね。

文京区の憲法とも呼ばれる自治基本条例[※]には、区民の参加を推進し、区民に開かれた区議会を目指しますと書かれています。理想と現実のギャップが大きすぎますよね。

—— どうすれば変わりますか？

まず、現実を見に来てほしいんです。何が問題かを知つたうえで、もっと大勢の人が声をあげれば変わります。議員は選挙で選ばれるので、区民の声を無視し続けるわけにはいきませんからね。

—— 委員会は平日の昼間ですよ。

見に行くのには厳しくないですか？

ぜひ区議会の傍聴にお越しください

昨年度の委員会の傍聴者数は計151人/年、**全区民の0.07%**です(平均すると2.8人/日)。あなたは区議会を見たことがありますか？

- 議会の開催日時や傍聴、請願等の方法は
区議会WEBサイトをご覧ください▼▼



ネット中継さえできれば、いつでもどこでも見られます。見る人や参加する人が増えれば議会の質も向上しますし、議会が変われば区政も変わります。回りくどいようですが、地方自治の仕組みをアップデートするには最善の方法だと思います。

—— 議会が地方自治の要だと？

自分たちにとって大切なことは、自分たち全員で決めるといのが自治の基本ですからね。少数の代表者に任せるのではなく、多くの人が議会に参加することで、意思決定の質も高められるし、政治への信頼や区民の当事者意識も取り戻せます。

—— 私たちの参加が鍵なんです。

私たちの政治という感覚があれば、自治の文化が育ち、共同体への参加意識も高まります。新旧住民の分断や世代間の対立を乗り越えるのにも政治への参加は不可欠だと思います。

政治への信頼を取り戻す 地方自治の主役は誰か？

——区内の高校生にインタビューを受けたとか。どんなお話でしたか？
議員が自分たちのほうを見てくれな
いのはなぜかと。あと、身近に政治
の話ができる友だちや大人がいない
悩みも聞かせてくれました。

——政治家は票を持っている有権者
ばかり見てるんじゃないですか？
ほんとうは未成年も含めた全区民の
代表が議員なんです。対等な立場で
見て、話ができなければ、そもそも
代表の役割を果たせませんよね。

——選挙権のない未成年の声も議員
が代弁すべきと？
そうしないと、子どもや若者の政治
への関心も育たないんですよ。一人
の人間として大切にされる経験が、
政治への信頼に直結してるわけです。
身近に話せる人がいなければ議員が
話し相手になる。高校で地方自治の
授業があれば議員が体験談を伝える
学校や地域の課題を請願にまとめ
て議会に提案する。そうやって政治を
自分ごとに変えていかないと、政治
不信を払拭できないと思うんです。

——請願は未成年もできるんですね。
憲法が定める国民の権利ですからね。
年齢も国籍も問いません。なのに、
ほとんど知られていないんですよ。
参政権もそうです。未成年は投票や
投票依頼こそできませんが、候補者

へのインタビューやアンケート、落
選運動などは自由にできるんですよ。
——それって本人も知らない場合が
多いんじゃないですか？
ほんとうはできるのに、誰も教えて
くれないわけです。請願もそうです。
せつかくの仕組みが知らされずに、
使われないままになってるんです。

——知らないで無力感を感じている
としたら残念ですね。
議員が知らなければいいんです。みな
さんには力があるんだと。やりたい
ことがあればいつでも提案できるし、
困りごとでも解決できるんだと。そう
やって人を力づけたり自己効力感を
高めたりするのも、議員の大切な仕
事だと思えます。

——たしか、条例も区民が提案でき
るんじゃないよね？
有権者の50分の一の署名でできます。
ほかにも区長の解職や議会の解散も
区民から直接請求できるんですが、
文京区では前例がありません。

——いわゆるリコールですね。前例
がないのはなぜでしょう？
リコールは強制力があるぶん、請求
のハードルが高いんですよ。逆に、
条例提案は強制力がないので、議会
が拒否できちゃうという制度上の
問題があります。地方自治の主役は
住民なのに矛盾を感じます。

区民による条例の提案に
ついては、前号のレポート
をご覧ください。



支え合いと学び合いの未来へ 民主主義を立て直すには？

——どうすればいいでしょうか？
住民投票条例をつくれればいいんです。
そうすれば、議会が提案を否決した
としても、住民の意思でもう一度、
決め直すことができますから。

——なんでも決められるんですか？
はい。法的な拘束力はありませんが、
区の運営方針から選挙制度まで、ど
んなテーマでも投票にかけられます。
投票のルールも自分たちで決められ
るので、未成年でも投票や投票依頼
ができるのがポイントです。

——住民投票であれば高校生も参加
できるというわけですね。
ほかにも、無作為抽出の区民会議や
区民による事業提案など、高校生も
参加できる仕組みがいろいろあるん
です。「地方自治は民主主義の学校※」
という言葉がありますよね。区政や
議会の仕組みをうまく使えば、この
国の民主主義をここ文京区から立て
直すことも可能です。

——やはり子どもや若者への教育が
大切ということですか？
大人もそうじゃないですか。むしろ、
ほんとうに必要なのは本来の自分の
力を忘れてしまった大人のほうかも
しれません。誰だって、ほんとうは
自分のことくらい自分で決めたいで
すよね。誰かに勝手に決められたく
はないし、決めさせられたくもない。

できたら人のためにもなりたいたし、
社会だつてもっとよくしたいと思っ
ているんですよ。

——それを支えるのが議員の仕事と
いうわけですね。
誰かに言われるままではなく自分で
決めること。無力と思いついていた
自分の力に気づくこと。他人ごとが
自分ごとになり、人任せから自分が
行動するようになることで、人と人
が支え合い、知恵と力を高め合う、
本来の民主主義が育ちます。議員も
その実践者のひとりなんですよね。
生活と政治をつなぎ、街場の実践者
と議会をつなぐことで、誰もが自分
らしく、共に生きる未来をつくる。

あなたも一緒にはじめませんか。



※英国の政治学者 ジェームズ・ブライスが著書『近代民主政治』に記した言葉。顔の見える地域社会での自治の営みが民主政治の基盤という意 (J.Bryce. 1921. "Modern Democracies")

区政 レポート

2023年2月定例議会 予算審査特別委員会 転入人口+税収増の行方は？ 区の将来ビジョンを問う

●3月2日から7日間、新年度の予算案を審査する委員会を開催しました。私たちの会派**立憲民主党・無所属文京区議団**は、コロナ危機を経て、区民の生活ニーズや望むまちの姿が変わり、区政にも新たな展開が望まれるなか、**区民が主役のまち**文京区のこれからのあり方を区と区議会に提案しました。

立憲民主党・無所属 文京区議団

立憲主義と熟議を重んずる民主政治を守り育て、人間の命とくらしを守る区民が主役の会派を結成しました。

●基本理念・方針は Facebook ページへ



転入人口+税収増の今後の行方は？

●転入人口と区税収入の増加が区の財政を支える一方、ふるさと納税による税収流出の拡大など**区民の愛着や当事者意識の格差**の課題が浮き彫りになりました。

●地価や家賃の高騰で住み慣れたまちや家に住み続けられなくなる住民もいます。人口構成の変化が地域の分断を拡大し、**コミュニティの弱体化や災害時の共助の力の低下**も危惧されています。

区民が主役の文京区をつくるには？

●**協働・協治**を自治の基本理念に掲げる文京区。区民に開かれた区政を実現し、区民との対等なパートナーシップのうえに誰もが共に生きる地方自治を再構築する新たな道筋が求められています。

そのほかの会派の意見や予算案への態度は、公式WEBサイトをご覧ください



区議会 レポート

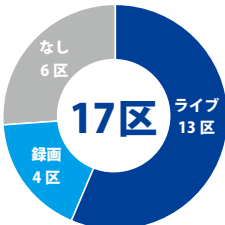
データで比べるポストコロナの23区議会 文京区議会の情報公開と区民参加はどう進んだのか？

●コロナ禍で進んだ地方議会改革の鍵は情報公開と住民参加です。東京23区議会と改革の進展を比べてみました。

議会のオンライン配信・公開は？

●委員会（予算/決算）の映像か音声をインターネットで配信している区は**17区**。（2022.10.3 中央区議会調査）

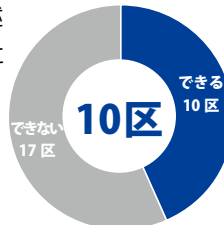
●また、この映像・音声を**情報公開**している区は**15区**（ほかは記録なし、または会議録作成後に記録を消去）。



議会への区民の参加は？

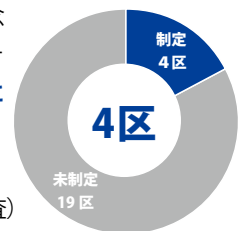
●区民が議会に請願を提出することで、**委員会に参加・発言できる区は10区**。（事案によって参加・発言を求められる区を含む。2022.1.11 墨田区議会調査）

●ほかの議会では委員長が参考人として出席を求めない限り、区民が直接、議会に参加して意見を述べたり議員の質問に答えたりすることはできず、**住民参加の機会が限られたまま**です。



議会基本条例の制定は？

●議会の基本理念や責務、運営方針を**議会基本条例に定めた区は4区**。（2022 自治体議会改革フォーラム調査）



文京区議会はどれも未実施！？

●コロナ危機で改革に積極的な議会と消極的な議会の格差が拡がりました。**地方自治の根幹である区議会のアップデート**は、ポストコロナの喫緊の課題です。

Profile



●1979年 愛媛県松山市生まれ。'98 愛光学園高校卒業、'02 東京大学農学部卒業、'05 同大学院修士課程修了。都内の保育園・こども園での勤務を経て'19 文京区議会議員初当選 ●所属委員会 子ども・子育て支援、災害対策、建設（まちづくり）、予算・決算、議会運営 ●学生時代から根津の路地裏の築百年の長屋に暮らし、プラタモリ「日本の住宅」にも出演 ●地域の保育園・幼稚園・小中学校の父母の会・PTA や地域の町会・NPO、避難所運営協議会でも活動中 ●家族は妻と息子3人とカメとネコ ●趣味は まち歩き / 寺社巡り

/ ラジオ体操 / 自転車ツーリング / キャンプ / プレイパーク / ギター弾き語り / 料理 / 草木染 / 写真 / 銭湯 / 日記 ●主な職歴は 船堀中央保育園 保育士 (2006-14)、江東区白河かもめ保育園 園長 (2014-16)、台東区立たいとうこども園 副園長 (2016-18) ●主な経歴は 文京区認可保育園父母の会連絡会 会長 (2010-12)、文京区基本構想推進区民協議会 委員 (2010-12)、文京区教育改革区民協議会 委員 (2012-14)、文京区立根津小学校 PTA 副会長 (2019-20)。現在は、藍染町会青年部 副部長 (2014-)、根津弥生七ヶ町連合会 防災士、文京区立根津小学校避難所運営協議会 委員 (2015-)、文京区立第八中学校 PTA 会長 (2022-)

